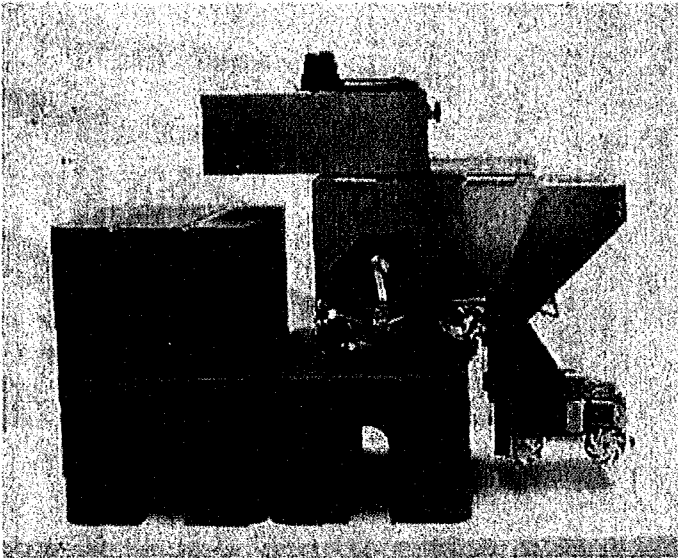


# ボロボロ階段昇降機 自律移動

## クフウシヤ、年度内投入

【いわき】クフウシヤ（相模原市緑区、大西威一郎社長）は、同社南相馬事務所（福島県南相馬市）で、自律的に階段を昇降するロボットの試作機を開発した。階段1段を約10秒で昇降できる。すでに関連特許を取得済みで、2022年度中に製品化。23年度から量産・事業化する計画だ。「メイド・イン・福島」のロボットとして、1機100万円での販売を目指している。

### 福島発技術で第1弾



クフウシヤの取り組みは福島県の「地域復興実用化開発等促進事業」に採択されており、「まだ世の中にならぬ自律移動ロボットの開発」（大西社長）を進めている。試作した自律移動の階段昇降ロボットはその第1弾となる。三つのユニットをそれぞれ制御し、重心を移動して、安定して階段を上り下りするクフウシヤが開発した階段昇降ロボット。超高層ビルなどで清掃や警備、運搬といった作業を担うロボットとして活用を目指す。

ホイールの車軸に対して45度の角度でたる形の小型ローラーを配置した、全方位に動けるメカナムホイールで移動する。ソフトウエア、電気制御、メカニズム設計を核にした一貫開発を進め、部品加工には福島県内の企業5社以上が関わった。超高層ビルなどで階段を移動して清掃や警備、運搬といった作業を担うロボットとして活用を目指している。クフウシヤはこれまでに業務用清掃ロボット（幅76センチ×高さ87センチ、重量60キロ）を開発した実績がある。今回のロボットは、その業務用清掃ロボットの技術を高度化したものとなる。